

誰もがいつまでも楽しめるニュースポーツ。このコーナーでは、さまざまなニュースポーツの魅力を紹介します。

今月のスポーツ ノルディック ウォーキング

フィンランド発祥のノルディックウォーキングは、2本の専用ポールを使用して歩くニュースポーツ。1930年ごろに、フィンランドのクロスカントリースキー選手が夏場のトレーニングとして始めました。その手軽さと全身運動効果の高さから注目され、日本だけでなく世界中で急速に人気が高まっています。

通常のウォーキングに比べて、上半身の筋肉を使用し全身運動になるため、消費カロリーが多く、ダイエット効果が期待できます。



体力に応じて、自分のペースで取り組みます。



すずかノルディックウォーキングクラブ

伊藤 久司 さん

競技のここが楽しい!

いつでもどこでもできるノルディックウォーキング。自然や景観を楽しみながら、仲間と一緒に取り組みます。



楽しく運動して若返りましょう。

問合せ

すずかノルディックウォーキングクラブ
伊藤 (☎090-1747-3394)

ニュースポーツを紹介する「みんなで楽しもう! NEW SPORTS」は、今回で終了します。ご愛読ありがとうございました。

ひとまち・モータースポーツ

2輪全日本選手権に挑む鈴鹿大生

鈴鹿大学に在学中の吉田愛乃助さん(20歳 徳島県出身)が、昨年に続いて2輪ロードレース全日本選手権「ST1000クラス」にシリーズ参戦します。チームは「TONE RT SYNCEDGE4413 BMW」(神奈川県)で、ドイツ製バイクBMWを駆っての戦いとなります。

シリーズは4月から10月まで、モビリティリゾートもてぎ(栃木県)や鈴鹿サーキットなど全国各地のサーキットを舞台に、全5戦で争われます。

吉田選手の大きな目標は、7月の世界耐久選手権「鈴鹿8時間耐久ロードレース(鈴鹿8耐)」への参戦。昨年は補欠として登録されたものの出走は叶わず、その思いはさらに強くなっています。

そんな彼の挑戦を支えるのが、鈴鹿大学です。今年、同大学は吉田選手とスポンサー契約を結び、バックアップすることになりました。

吉田選手は「全日本のレベルはとて高く、昨年は思うような結果が出せずに悔しい思いをしましたが、今年はいよいよ良い結果を残せるよう全身全霊で頑張っていきたいと思います」と力強く語っています。



▲吉田愛乃助選手(鈴鹿大学正門にて)

■中野能成(鈴鹿モータースポーツ友の会 事務局)

キーボード

子どものころ、夏休みに母方の実家で1カ月ほど過ごすことが楽しみの一つでした。

その家は、まきで沸かす風呂、くみ取り式のトイレ、縁側のある昔ながらの建物。ある柱には、私や姉、いとこなどの成長を喜んでくれた祖父が、測ってくれた身長の上り下りが刻まれていました。

親戚一同が集まるお盆は、特にワイワイにぎやかに。そこはいつも落ち着く大好きな場所でした。



特集で取材した家屋は、建物自体は古いものの、良さを残しつつ新しいものを組み合わせるなどして、すてきに生かされていました。利用者の皆さんは、その落ち着いた雰囲気異口同音「ついつい長居してしまう」。私も納得できました。

ちなみに母の実家は、老朽化で20年ほど前に建て替え。今思うと別の選択肢があったのでは、と惜しい気持ちになりました。(由)